



千歳市における空港の歴史は、現在の国道36号と千歳川が交通手段であった千歳村において、大正15年に鉄道が開通したことと一本の着陸場が造成されたことに端を発し、95年目を迎えます。

新千歳空港は、2本の3,000m滑走路を有する北海道における基幹空港です。北米・欧州に至近という地理的優位性を生かし、国際拠点空港化を目指しており、平成6年には日本初の24時間空港として運用を開始し、平成22年3月には国際線旅客ターミナルが供用を開始しました。

令和2年の旅客数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により約929万8,000人、うち国内線は対前年比58.2%減の約866万6,000人、国際線は83.6%減の約63万2,000人となり、新千歳空港開港前の昭和61年以来、34年ぶりに1,000万人を下回りました。

新型コロナウイルス感染症流行前の令和元年の旅客数は約2,459万9,000人で、6年連続で過去最高を更新し、航空路は国内各地31都市、海外ではヘルシンキ、シドニーをはじめ中国、韓国、台湾などの25都市と結ばれていました。中でも、1日52往復（令和3年4月現在）が運航する新千歳 - 羽田線は、世界有数の輸送人員を誇る路線であり、令和元年には年間約1,019万人が利用しています。

令和2年6月からは、民間委託により、空港運営事業者である北海道エアポート株式会社による滑走路等の空港関連施設とターミナルビル等の上下一体運営が開始されました。今後、民間の経営能力を活用した戦略的な運営により、就航路線の拡大、利用者利便の向上などさらなる発展が期待されます。

千歳市内には千歳駅、南千歳駅、新千歳空港駅、長都駅の4つの旅客駅が設置されています。令和元年度の新千歳空港駅と千歳駅における乗車人数は、それぞれ道内2位、7位と利用者が多く、まさに交通の拠点であることを示しています。都市間輸送を担うJR千歳線は市街地において高架化されたJR北海道の最大幹線で、道内主要都市からの空港連絡鉄道のほか本州連絡鉄道としての性格を帯びています。

国道36号は札幌 - 千歳 - 苫小牧 - 室蘭を結ぶ道内の幹線で、ほかに国道5路線と道道14路線が鉄道とともにネットワークを構成し、物流の合理化など北海道の発展に寄与しています。

また、北海道を縦横断する高速自動車国道の「北海道縦貫自動車道」と「北海道横断自動車道」では、道内における連絡機能の強化や地域間交流の活性化及び、新千歳空港等への物流の効率化等の支援を目的として、各道路の拠点となる主要都市へ向けた整備が進められており、市内では、接続する千歳IC及び千歳東ICに加え、平成25年8月には新千歳空港ICが開通し、新千歳空港へ向かう新たなルートが確保されたほか、新千歳空港と石狩湾新港を結ぶ道央圏連絡道路についても、令和2年3月に、千歳 - 長沼間を結ぶ泉郷道路が開通するなど整備が進んでいます。

鉄道と道路で直結した苫小牧・室蘭には国際拠点港湾があり、千歳は北海道における「空・陸・海」をジョイントする一大交通拠点です。



59 新千歳空港概要

(1) 基本施設

面積 728 万㎡
 滑走路 A滑走路 延長 3,000m 幅 60m (アスファルトコンクリート舗装)
 B滑走路 延長 3,000m 幅 60m (アスファルトコンクリート舗装)
 誘導路 延長 16,492 m 幅 23m~58m
 エプロン 面積 826,504㎡ 大型航空機用53 バース 中型航空機用 3 バース
 小型航空機用 8 バース

北海道エアポート(株)

(2) 旅客ターミナルビル

ア 床面積・用途

(単位 ㎡)

区分	国内線ターミナルビル	用途
地下1階	23,807	
1階	43,972	バゲージクレーム 到着ロビー等
2階	57,582	出発ロビー 搭乗待合室 ショッピングワールド等
3階	36,624	グルメワールド 有料待合室 ホテル等
4階	16,815	温泉施設 映画館 ホテル等
5階	4,722	ホテル等
塔屋	610	
計	184,132	
区分	国際線ターミナルビル	用途
地下1階	821	
1階	27,302	車寄せロビー ホテル等
2階	41,510	到着ロビー 到着コンコース ホテル等
3階	42,807	出発ロビー 出発コンコース ホテル等
4階	16,259	有料待合室 ホテル等
5階	4,146	ホテル等
6階	3,580	ホテル等
7階	3,580	ホテル等
8階	3,580	ホテル等
塔屋	53	
計	143,638	
区分	連絡施設	用途
地下1階	224	
1階	1,815	ホール
2階	8,072	連絡通路等
3階	8,072	エンターテイメント施設
4階	2,942	機械室等
5階	—	
塔屋	3	
計	21,128	

イ 機械設備

(ア) 国内線旅客ターミナルビル

機械設備	ボーディングブリッジ	26基
	旅客用エスカレーター	82基
	旅客用(身障者兼用)エレベーター	20基
	ホテル客用エレベーター	2基
	人荷用エレベーター	13基
	出発・到着ベルトコンベア	28基 (出発18 到着10)
	ダムウェーター	2基
フライトインフォメーション	一式 制御操作装置・表示ボード125台・自動放送装置	
デジタルメディア設備	43台	
構内電話交換設備	一式 大容量デジタル式交換機	

(イ) 国際線旅客ターミナルビル

機械設備	ボーディングブリッジ	15基
	旅客用エスカレーター	13基
	ムービングサイドウォーク(動く歩道)	6基
	旅客用(身障者兼用)エレベーター	25基
	ホテル客用エレベーター	4基
	人荷用エレベーター	15基
	出発・到着ベルトコンベア	37基 (出発26 到着11)
フライトインフォメーション	一式 制御操作装置・表示ボード182台・自動放送装置	
デジタルメディア設備	31台	
構内電話交換設備	一式 大容量デジタル式交換機(国内線配下装置)	

(ウ) 連絡施設

機械設備	旅客用エスカレーター	10基
	ムービングサイドウォーク(動く歩道)	8基
	旅客用(身障者兼用)エレベーター	3基
	人荷用エレベーター	1基
フライトインフォメーション	表示ボード20台	
デジタルメディア設備	20台	

北海道エアポート(株)



(3) 国内線貨物ターミナルビル

ア 航空会社棟

(単位 m²)

区 分	日本航空棟	A N A 棟	用 途
地下1階	484	236	荷捌場・事務室等
1 階	7,990	5,618	
2 階	965	369	
計	9,439	6,223	

イ 代理店棟 (日通棟を含む)

(単位 m²)

区 分	代理店上屋	用 途
地下1階	245	荷捌場・事務室等
1 階	4,645	
2 階	1,269	
計	6,159	

北海道エアポート(株)

(4) ターミナルアネックスビル

(単位 m²)

区 分	ターミナルビル付属棟	用 途
地下1階 (塔屋含む)	7,602	事務室等

北海道エアポート(株)

(5) ケータリング (機内食) 施設

(単位 m²)

区 分	ケータリング施設	用 途
1 階 (塔屋含む)	10,160	機内食工場・食品調整工場等
2 階		

北海道エアポート(株)

(6) 車両整備格納庫

(単位 m²)

区 分	A 棟	B 棟	用 途
1 階 (塔屋含む)	2,653	4,614	航空機支援車両整備車庫
2 階			

北海道エアポート(株)

60 新千歳空港乗降客数の推移

年・月	総 数	乗 客	降 客
28年	(2,579,899)	(1,283,552)	(1,296,347)
	21,311,918	10,726,893	10,585,025
29年	(3,290,366)	(1,635,742)	(1,654,624)
	22,718,612	11,416,230	11,302,382
30年	(3,725,840)	(1,853,677)	(1,872,163)
	23,313,311	11,704,296	11,609,015
元 年	(3,866,519)	(1,927,802)	(1,938,717)
	24,599,263	12,347,349	12,251,914
2 年	(631,983)	(326,960)	(305,023)
	9,297,546	4,703,208	4,594,338
1月	(395,856)	(195,728)	(200,128)
	2,017,308	1,032,520	984,788
2月	(220,222)	(121,332)	(98,890)
	1,678,924	867,158	811,766
3月	(15,905)	(9,900)	(6,005)
	598,715	307,569	291,146
4月	(0)	(0)	(0)
	178,259	83,036	95,223
5月	(0)	(0)	(0)
	110,697	56,877	53,820
6月	(0)	(0)	(0)
	303,790	150,159	153,631
7月	(0)	(0)	(0)
	577,164	284,544	292,620
8月	(0)	(0)	(0)
	726,575	367,315	359,260
9月	(0)	(0)	(0)
	799,662	403,765	395,897
10月	(0)	(0)	(0)
	969,219	484,664	484,555
11月	(0)	(0)	(0)
	814,706	421,124	393,582
12月	(0)	(0)	(0)
	522,527	244,477	278,050

1 ()内は国際線乗降客数で再掲である

2 令和2年の数値は速報値

国土交通省「空港管理状況調書」、北海道エアポート㈱(空港政策課)

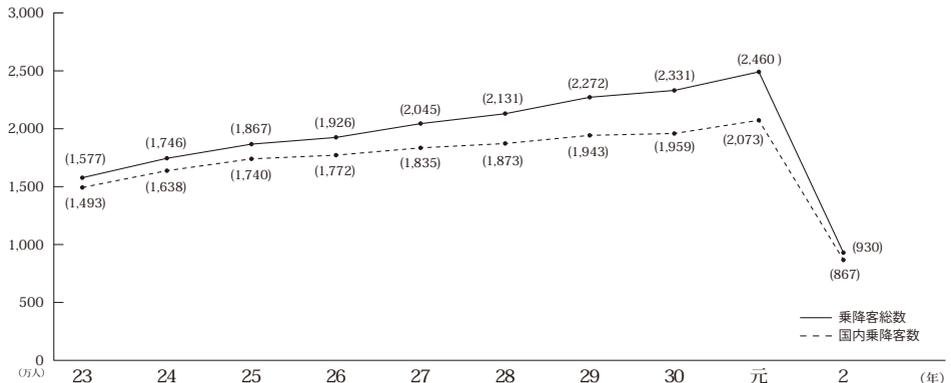
61 新千歳空港乗降客数（令和2年）

種別	路線	乗降客数	
総数		9,297,546	
国内線総数		8,665,563	
拠点空港	社会管理空港	成田	793,782
		中部	665,666
		関西	524,786
		大阪	625,740
	国管理空港	稚内	45,683
		釧路	51,499
		函館	31,960
		仙台	395,756
		新東日本	64,477
		広島	4,219,842
特定地方管理空港	福沖	60,972	
	松縄	326,903	
	山形	41,317	
地方管理空港	秋田	13,901	
	利根	40,992	
	中津	12,711	
	女木	8,612	
	青森	60,749	
	花巻	124,982	
	福島	62,723	
富山	34,067		
		19,880	
		13,096	

種別	路線	乗降客数
地方管理空港	松本	22,654
	静岡	22,947
	神戸	257,856
	岡山	15,929
共用空港	出雲	1,564
	茨城	84,208
	小松	18,605
	徳島	1,258
	その他	446
国際線総数		631,983
国際線	中国 (北京、上海、天津、杭州、 南京、大連、無錫、青島、 福州、成都)	105,655
	韓国 (ソウル、釜山)	86,653
	台湾 (台北、高雄)	146,570
	香港	108,576
	その他定期路線 (ホノルル、バンコク、クアラル ンプール、シンガポール、マニラ、 ユジノサハリンスク、ウラジオ ストク、ヘルシンキ、シドニー)	184,397
	チャーター便等	132

北海道エアポート(株) (空港政策課)

乗降客数の推移



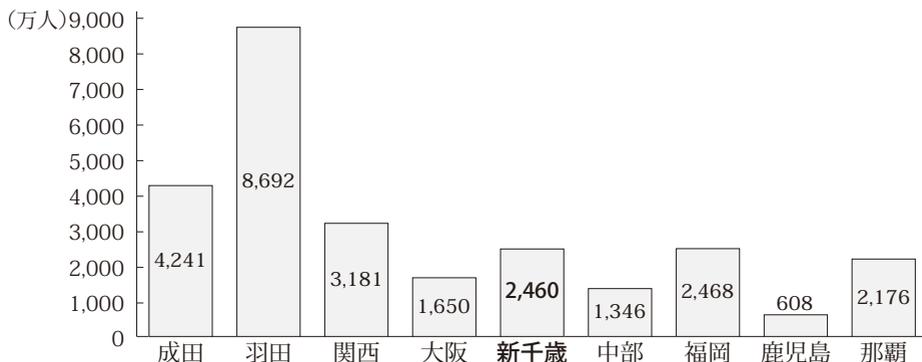
62 新千歳空港貨物取扱量の推移

(単位 kg)

区分	総数		積荷		降荷	
	元年	2年	元年	2年	元年	2年
総数	(18,041,188) 172,497,951	(10,349,095) 121,726,587	(13,364,812) 84,849,220	(8,810,181) 62,604,793	(4,676,376) 87,648,731	(1,538,914) 59,121,794
1月	(1,696,319) 11,860,371	(1,519,836) 11,699,539	(1,381,783) 5,393,031	(1,191,852) 5,095,736	(314,536) 6,467,340	(327,984) 6,603,803
2月	(1,424,792) 11,797,810	(594,171) 10,830,570	(1,170,010) 4,996,702	(372,421) 4,099,538	(254,782) 6,801,108	(221,750) 6,731,032
3月	(1,326,532) 13,567,673	(413,466) 10,251,915	(981,021) 5,638,793	(283,259) 3,950,269	(345,511) 7,928,880	(130,207) 6,301,646
4月	(1,424,768) 12,763,247	(280,533) 5,900,153	(1,057,143) 5,550,897	(256,505) 2,767,048	(367,625) 7,212,350	(24,028) 3,133,105
5月	(1,551,435) 12,232,727	(287,621) 5,749,732	(1,141,171) 5,585,923	(257,528) 2,990,160	(410,264) 6,646,804	(30,093) 2,759,572
6月	(1,395,548) 13,413,305	(424,397) 7,428,207	(1,042,484) 6,685,696	(380,926) 3,905,276	(353,064) 6,727,609	(43,471) 3,522,931
7月	(1,273,495) 16,538,640	(558,955) 11,246,991	(915,494) 9,370,443	(484,289) 6,888,120	(358,001) 7,168,197	(74,666) 4,358,871
8月	(1,180,731) 15,324,091	(666,943) 10,703,670	(813,337) 8,348,669	(616,586) 6,411,853	(367,394) 6,975,422	(50,357) 4,291,817
9月	(1,583,166) 16,387,260	(914,053) 10,570,297	(1,183,421) 9,337,541	(821,356) 6,285,902	(399,745) 7,049,719	(92,697) 4,284,395
10月	(1,532,934) 16,541,586	(1,401,133) 12,155,661	(1,097,771) 9,120,553	(1,282,140) 7,328,331	(435,163) 7,421,033	(118,993) 4,827,330
11月	(1,875,795) 14,268,019	(1,369,815) 10,841,150	(1,313,434) 7,022,108	(1,109,944) 5,525,426	(562,361) 7,245,911	(259,871) 5,315,724
12月	(1,775,673) 17,803,222	(1,918,172) 14,348,702	(1,267,743) 7,798,864	(1,753,375) 7,357,134	(507,930) 10,004,358	(164,797) 6,991,568

1 ()内は国際貨物量で再掲である
北海道エアポート㈱(空港政策課)

主要空港乗降客数(令和元年)



<資料>国土交通省「空港管理状況調査」

63 千歳飛行場施設概要

千歳飛行場は、防衛省が設置・管理する航空法第56条の5による共用飛行場です。

面積 約1,060万㎡

滑走路 東側滑走路 延長3,000m 幅60m (セメントコンクリート舗装)

西側滑走路 延長2,700m 幅45m (アスファルトコンクリート舗装)

1 表233(3)に再掲

航空自衛隊千歳基地

※基地全体 1,054万㎡

飛行場 621万㎡

64 空港除雪車両車種別保有台数

車種	新千歳空港
プラウ除雪車	21
スノーパ除雪車	20
ロータリ除雪車	8

車種	新千歳空港
凍結防止剤散布車	2
計	51

1 令和3年4月1日現在
北海道エアポート㈱

65 鉄道旅客輸送人員の推移 (乗車人員)

(単位 千人)

駅名	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
総数	9,181	9,572	10,012	10,356	10,373
千歳駅	3,156	3,193	3,262	3,317	3,321
南千歳駅	511	495	510	557	569
新千歳空港駅	5,514	5,884	6,240	6,482	6,482

1 長都駅は無入駅のため不詳 美々駅は平成29年3月4日廃止
北海道旅客鉄道㈱経営企画部

66 令和元年度道内駅別乗車人員 (1日平均)

(単位 人)

順位	駅名	乗車人員	順位	駅名	乗車人員
1 (1)	札幌	98,122	11 (11)	恵庭	7,379
2 (2)	新千歳空港	17,710	12 (12)	大森	7,109
3 (3)	手稲	15,273	13 (13)	野幌	6,403
4 (4)	新札幌	14,421	14 (14)	星置	5,930
5 (5)	琴似	11,592	15 (19)	苗穂	5,200
6 (6)	桑園	10,577	16 (15)	旭川	4,847
7 (8)	千歳	9,075	17 (17)	稲積公園	4,638
8 (7)	小樽	9,072	18 (16)	岩見沢	4,562
9 (9)	白石	8,418	19 (18)	登寒	4,526
10 (10)	北広島	7,705	20 (20)	登寒中央	4,502

1 ()内は前年度順位
北海道旅客鉄道㈱経営企画部

67 高速自動車国道

(1) 道央自動車道施設概要

路線名	北海道縦貫自動車道 函館名寄線
区間	茅部郡森町―士別市
延長	443.5km (千歳市域9.5km)
車線数	4車線 (一部暫定2車線)
設計速度	120km/時、100km/時及び80km/時
規制速度	最高速度100km/時 (一部区間80km/時又は70km/時) 最低速度50km/時
サービスエリア	4か所 (有珠山 樽前 岩見沢 砂川)
パーキングエリア	11か所 (八雲 静狩 豊浦噴火湾 富浦 萩野 美沢 輪厚 野幌 茶志内 音江 比布大雪)

1 令和3年3月31日現在
NEXCO 東日本北海道支社

(2) 道東自動車道施設概要

路線名	北海道横断自動車道 黒松内釧路線・黒松内北見線
区間	千歳市―釧路市、足寄町 (国 直轄区間 (本別～阿寒) を含む)
延長	254.1km (千歳市域18.4km)
車線数	暫定2車線
設計速度	100km/時及び80km/時
規制速度	最高速度70km/時 (一部区間80km/時)
サービスエリア	1か所 (十勝平原)
パーキングエリア	5か所 (キウス 由仁 占冠 長流枝 上浦幌)

1 令和3年3月31日現在
NEXCO 東日本北海道支社
国土交通省北海道開発局

(3) 供用状況(インターチェンジ)



1 令和3年3月31日現在
2 供用状況欄のインターチェンジ間の数字は供用開始年を示す
3 千歳-阿寒・足寄間は道東自動車道を示す (ジャンクションは千歳恵庭)
4 札幌-小樽間は札幌自動車道を示す (ジャンクションは札幌)
NEXCO 東日本北海道支社
国土交通省北海道開発局

(4) 千歳インターチェンジ出入車両の推移 (単位 台)

年度	総 数	日 平 均
28	4,274,643	11,711
29	4,371,193	11,976
30	4,497,284	12,321
元	4,597,756	12,562
2	2,775,536	7,604



NEXCO東日本北海道支社

68 バス輸送人員

(1) バス輸送人員の推移

(単位 千人)

年度	28	29	30	元	2
輸送人員	2,909	2,779	2,900	2,904	1,785

1 千歳市内に路線を持つ会社4社の合計である
 北海道中央バス(株)・道南バス(株)・千歳相互観光バス(株)・あつまバス(株)

(2) 会社別・路線別輸送人員 (令和2年度)

(単位 千人)

会社名	路線	輸送人員	会社名	路線	輸送人員
北海道中央バス		1,170	千歳相互観光バス		428
	千 歳	450		青 葉	55
	千歳空港支笏湖	23		泉 沢	272
	苫 小 牧	134		勇 舞 空 港	69
	千 歳 市 内	563		市民病院プール	32
道 南 バ ス		158	あつまバス	千 歳	29
	苫小牧千歳空港	128			
	室蘭千歳空港	9			
	勇舞千歳空港	21			

北海道中央バス(株)・道南バス(株)・千歳相互観光バス(株)・あつまバス(株)

69 タクシーの輸送状況の推移

年	会社数(社)	登録台数(台)	実車走行距離(千km)	乗車人員(千人)
29	6	183	5,817	2,325
30	6	193	6,136	2,360
元	6	190	6,302	2,333
2	6	190	5,999	2,159
3	6	179	2,878	1,315

1 各年3月31日現在
千歳地区ハイヤー事業協同組合

70 自動車車種別登録台数の推移

(単位 台)

車種	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
総数	74,232	75,862	77,957	80,432	81,121
貨物自動車					
普通車	2,634	2,636	2,714	2,741	2,788
小型四輪車	2,626	2,660	2,884	2,872	3,094
小型三輪車					
被けん引車	253	238	258	273	261
乗合自動車					
普通車	215	225	256	264	254
小型車	177	183	203	229	240
乗用自動車					
普通車	16,478	17,370	18,665	20,168	20,890
小型車	23,639	23,614	23,469	23,375	23,986
特殊用途車					
普通車	1,174	1,170	1,213	1,260	1,294
小型車					
大型特殊車	654	667	672	700	719
小型二輪車	1,291	1,326	1,346	1,368	1,376
軽自動車	25,091	25,773	26,227	27,182	26,219

1 各年度末現在
北海道運輸局札幌運輸支局、一般社団法人全国軽自動車協会連合会(総務課)

71 電話加入状況の推移

(単位 台)

年度	加入電話					公衆電話	
	総数	区分		100人 当たり 普及台数	住宅用 電話比率 (%)	総数	1,000人 当たり 普及台数
		事務用	住宅用				
28	16,172	4,632	11,540	16.9	71.4	137	1.4
29	15,152	4,403	10,749	15.8	70.2	132	1.4
30	14,167	4,173	9,994	14.7	70.5	123	1.3
元	13,123	3,896	9,227	13.6	70.3	130	1.3
2	12,246	3,651	8,595	12.6	70.2	130	1.3

1 各年度末現在 (INSネット回線含む)

2 INSネット1500は10回線換算とした

NTT東日本(株)北海道支店

72 郵便施設数の推移

年	郵便局数		郵便切手類販売所及び 印紙売りさばき所	郵便ポスト
	総数	簡易郵便局(再掲)		
29	15	1	124	107
30	15	1	121	104
元	15	1	129	100
2	15	1	133	100
3	15	1	112	109

1 各年4月1日現在

日本郵便株式会社 北海道支社

※郵便局総数には、千歳郵便局新千歳空港内分室を含む

73 テレビ受信契約数の推移

(単位 件)

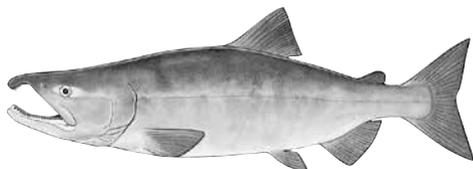
年度	契約数	衛星契約数(再掲)
27	35,099	15,355
28	35,790	15,990
29	36,558	16,713
30	37,140	17,218
元	37,572	17,625

1 各年3月31日現在

2 NHKホームページ「受信料・受信契約数に関するデータ」(総務課)

市の魚 サケ

平成8(1996)年11月1日制定



(サケ科の海産硬骨魚)

「千歳」という地名が生まれる以前から川にはたくさんのサケがそ上し、この地に住む人々の貴重な食糧でした。

今も千歳川をそ上するサケは、捕魚車「インディアン水車」とともに秋の風物詩となっています。

地下観察室で川中のサケのそ上が見られる「サケのふるさと千歳水族館」などサケを主役とした施設が市内観光の一大ポイントとなっています。